

フクムギ情報

福井県産【大麦・小麦】の
収量アップを目指して！！

JA福井県

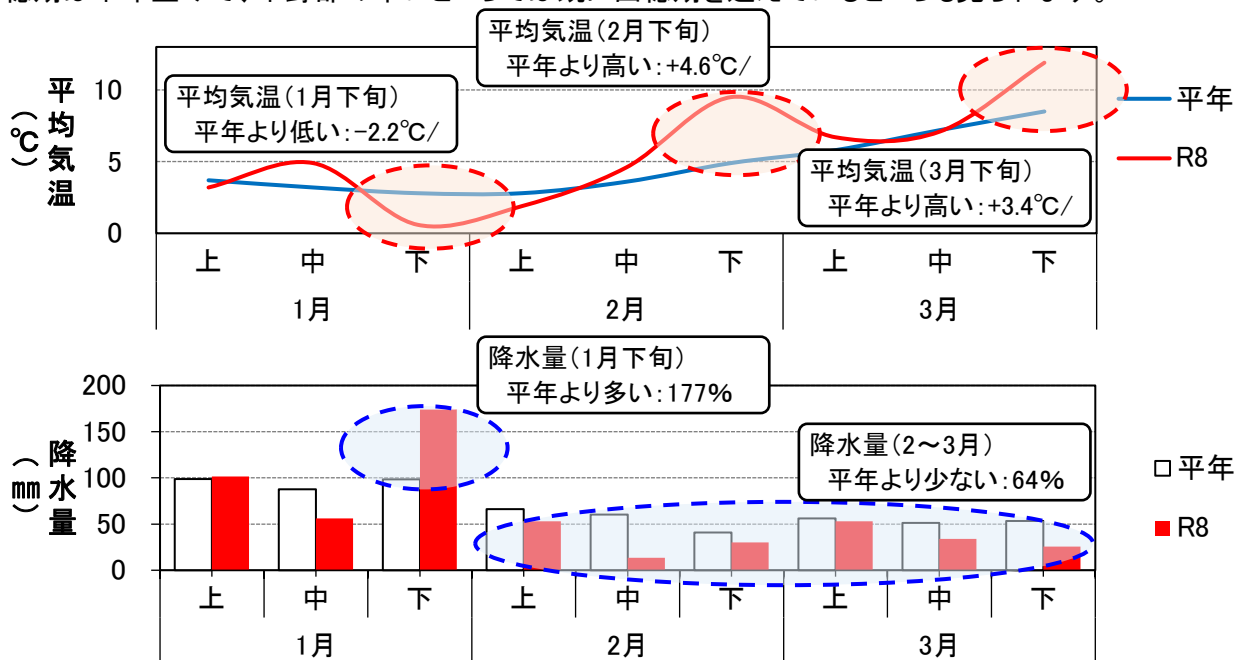
No.5

(ファイバースノウ・はねうまもち)

本年は積雪の影響は若干ありましたが、3月下旬時点の大麦の生育は平年に比べて、茎数がやや多い傾向にあります。昨年秋が高温であったため、現時点での大麦の一括肥料の溶出は、例年よりも多く溶出している見込みです。3月下旬・4月上旬が温かい為、出穂も昨年より早い傾向にあります。5月下旬頃には刈取適期となりますので、準備をして今後の作業を行いましょ。

1. 大麦生育状況

- 大麦の生育は平年に比べ、茎数がやや多い傾向です。
- 出穂期は平年並みで、平野部の早いところでは既に出穂期を迎えているところも見られます。



2. 赤カビ病防除

★大麦の防除(時期や薬剤)については、担当の営農指導員へ相談下さい。

- 赤カビ防除の目安は地域差がありますが、平野部では4月中旬頃から1回目になります。
- 赤カビの基幹防除は2回。
⇒赤カビが発生すると出荷停止になりますので必ず2回防除を行いましょ。
⇒2回目の防除は1回目の7~10日後が適期となります。



【赤カビ病が発生しやすい条件】 出穂期から乳熟期にかけて、曇天・降雨が続き、気温が高いと発生します。

3. 追肥 (はねうまもち)

- 収量向上のため、出穂期頃に窒素分で、3kg/10aの実肥を実施しましょ。

【注意】

- 圃場内の排水溝を確認し、崩れている溝があれば手直しをしましょ。
- 圃場内にカラスノエンドウの発生が確認された場合は、早めに手取り等を実施しましょ。